

令和6年度 第3回学校関係者評価委員会議事録

鹿児島県立鶴丸高等学校

1 日 時 令和7年2月19日(水) 15:00~16:30

2 場 所 本館3階 研修室A

3 出席者 計15名

評価委員(3名)

本校同窓会副会長(卒業生代表)

公立中学校長(中学校代表)

建築事務所代表取締役(地域代表)

学校側出席者(12名)

- ・校長 ・教頭 ・事務長 ・教務課主任 ・生徒指導課主任
- ・保健課主任 ・進路指導課主任 ・1学年主任 ・2学年主任 ・3学年主任
- ・教務課副主任(記録係)

4 会議の流れ

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校評価アンケート結果報告
- (3) いじめ防止への取組について
- (4) 各課・各学年の年間反省
5課:教務・生徒指導・保健・進路指導・事務・1学年~3学年
- (5) 来年度に向けての意見交換
- (6) その他

5 意見交換

- (1) 学校評価アンケート結果報告
- (2) いじめ防止への取組について
(意見)・いじめ等は口に出せないこともあるので、今後もアンケート等を通じて周囲からの情報を拾っていただきたい。
・SNS利用のあり方を生徒どうして話し合う機会を継続してほしい。
・ネットリテラシーの教育は、小中高で連携して指導を充実させたい。
- (3) 各課・各学年の年間反省
(質疑) Q. DXハイスクールの指定に関して、ICT機器はどのように活用しているか？
A. 授業等で教師・生徒のタブレットを用いてプロジェクターで演示している。
昨年より利用率は上がっている。
Q. 生徒の意見を取り入れた利用は行っているか？
A. 学校全体としては行っていない。
→生徒の発表等を通じて、ICT利用のスキルの育成や、進路研究に活かしたり自己表現の場を提供するような取組を今後も続けてほしい。
Q. 単元テスト実施のによる効果はいかがか？
A. 単元ごとの短いスパンによる振り返りに効果的であり、基礎力の養成につなげていきたいと考える。
Q. 単元テストを同時間で実施しているか？情報漏洩等はないか？
A. 教科の希望に応じて時間割を変更している。
情報漏洩に関しては、生徒に単元テストの意義を理解して受験するよう指導している。
Q. 1年生で文理選択しているが、2年次以降の変更は可能か？
A. 変更はしていないが、数人は文理を転じた受験を行っている。

Q. 文理選択を1年次よりも後でという考えはあるか？

A. 教育課程は研究している。文理融合や文理をより細分化するという考え方もある。受験対策の点では、現状の過程がマッチしているという面もある。

Q. スクールポリシーに粘り強さという観点はあるか？

A. 「高い目標に向かって挑戦し、試練を乗り越えるためのたくましい心身を育成する」という文言に内包され则认为る。

Q. リモート授業では、どのような撮影をしているか？

概ね黒板を中心に映している。受信者と双方向型の授業をすることもある。

→生徒の答えられない姿等が放映されないような配慮をお願いします。

Q. 教科「情報」が共通テストの試験科目になったが、どのような様子か？

A. 2年次に履修した後で3年でも問題演習などを促した。とくに問題なく、概ね満足できる取組であった。

Q. 既卒生への指導はどのようにしているか？

A. 学校に出向いてもらい、個人指導を行っている。実力考査や外部模試なども来校させて受験させている。また、学校内外で激励会などを開き、最後まで面倒をみるという姿勢で行っている。

(意見) ・制服の検討に関して、LGBTQ 等も配慮しながら、多方面と慎重に議論して検討してほしい。

・先生方の熱意が生徒の気概を育てていると感じられ、心より感謝している。

・生徒をいかに指導していくか、常に工夫していただいております、感謝している。

・非常に創意工夫に富まれていて敬服する。この学校で学びたいと思う中学生が多いのも頷ける。

・先生方のプレッシャーも多いと思うが、ストレスマネジメントをし、体に気をつけて頑張っていたきたい。

(4) 来年度に向けての取組

(前項の意見交換・質疑応答で兼ねる)

(5) その他

(特になし)